

### 学校運営協議会議事録

日時	令和5年6月22日(木) 10時30分～12時00分					
場所	西浦公民館					
出席者	委員等	委員19名(3名欠席)				
	学校	西浦小校長	西浦中校長	西浦小教頭	西浦中教頭	総括事務長
	市教委	主任		統括コーディネーター		
議題	(1) (報告) 「西浦地区義務教育学校開校に向けた基本方針(案)」について (2) (報告) 小中連絡会について (3) (協議) 今後の運営協議会について					
協議要旨	意見の概要	開校準備委員会をたちあげて協議していく。基本方針は、 ・みんなで創る新しい学びの場 ・西浦から始まる新しい学びのカタチ 準備委員会委員については今後、教育委員会と協議予定。小中学校全教職員が3部会に分かれて、各項目について協議していく。第1回は7月に予定。それ以降は第1回の委員会で協議。本年度中には「学校名」を決めていく必要がある。 <b>【委員意見】</b> ・「生活のきまり」ではなく、「生活のあり方」である。教育課程については7年度には試行ができるように。部活動については、西浦にない部活にも子どもが参加できるようにしてほしい。			協議の結果	—
	意見の概要	義務教育学校の開校に向けて、全教職員が意識を高めて学校づくりに関わっていくことを目的に合同会議を開催した概要説明をおこなった後、3つのテーマについて、「どんなことをやってみたいか」という熟議を行った。教職員が主体的に義務教育学校開校に向けて意識を高めることや同じ方向を向いて関わり合うことの大切さを実感できる有意義な合同会議となった。			協議の結果	—
	意見の概要	義務教育学校開校を見据えて運営協議会委員と西浦小中学校教職員が一緒になって「育てたい子どもの姿」について、考える場を設定したいと考えている。 運営協議会委員の方々には、地域・家庭での子ども姿を中心に御意見等をいただき、教職員からは、学校での子ども姿を中心に御意見等をいただく「熟議」を次回学校運営協議会の中で実施したい。 <b>【委員意見】</b> ・部活動についての協議はあまり進んでいない。 ・学びの柱の例は西浦の学びと繋がっていることが大切。 ・何を目玉にするか。委員が「素晴らしいものを作ります」といえる用意が必要。 ・体験を通して、親も地域も学ぶことができる「地域が支える			協議の結果	

	<p>学校」ということを打ち出してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口を増やすためにも校区の自由化も考える必要があるのではないか。</li> <li>・イベントを通じて外国の人と英語で会話ができるような地元 に根差した英語力が育つとよい。</li> <li>・「新しい学校に求めること」を先に出し、それをメインに考 えていけばよい。</li> <li>・合築により、節約できた経費を新しい学校の教育内容や人材 に使えないか。</li> <li>・子どもたちが塾ではなく学校で勉強が分かるような学校にし てほしい。</li> <li>・子どもやここにいない人も情報が共有駅るようにしてほしい。</li> </ul>	承認
その他 意見交換等	特になし	
協議資料		
備考	傍聴者 [ 0 ] 名	